

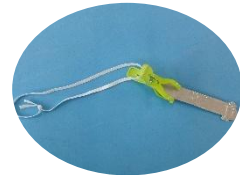
エピソード

子どもの育ちや学び

洗濯バサミを繋ぎ合わせてつくったものを手に持ち、保育室の壁やつい立てに向けてねらいを定めて遊んでいたAくんやBくん。保育者がゴム紐や輪ゴムなどを遊びの場に出すと、Aくん「これ(ゴム紐)つけてほしい」と、保育者に伝えました。保育者が洗濯バサミにゴム紐を結んでつけると、今度は空き箱を切ったり貼ったりして矢印の形をした矢をつくりました。

Aくん「見ててや」と洗濯バサミに矢を挟み、ゴム紐を引っ張りながら洗濯バサミを開くと、矢は下に落ちました。Bくん「ちょっとだけ前にいったな」、Aくん「飛ばなかった」と、伝え合っていました。

飛ばなかった
(矢が飛ぶ様子に気付く)



・洗濯バサミやゴム紐、空き箱などの素材を使ってイメージしたものをつくる。

次の日。Aくんは空き箱を手に取り、一つの側面を切りました。また、Aくん「ここに穴開けたい」とマジックで丸をかくて、保育者に伝えました。保育者がAくんの思いを聞きながら空き箱に穴を開けると、箱の中をのぞいています。

次に、別の空き箱を三角形に切り、それにゴム紐をセロハンテープでつけて矢をつくりました。

Aくんは早速、空き箱の穴に矢を通し、ゴム紐の端を手で引っ張って離すと、矢は真っ直ぐに飛んでいきました。Aくん「飛んだで!」、保育者「すごい!遠くまで飛んだね」と驚き、近くで見ていたBくんも「すごかったね」と伝えていました。



飛んだで!
(矢が飛ぶ様子に驚く・嬉しい)



・矢を飛ばす方法を考え、素材を使ってつくる。
・手先を使って力加減を調整しながらゴム紐を引っ張ったり、飛んだ矢を目で追ったりする。
・矢の飛び方や、飛んだ距離の違いに気付く。
・矢が飛ぶ様子を友達や保育者と伝え合う。

保育者の思い

- ・1学期から洗濯バサミや空き箱などの素材を使って遊ぶ姿があったため、取り出しやすいようにしていました。また、繋ぎ合わせた洗濯バサミを手を持って遊び始める姿が見られ、遊びに使えるゴム紐や輪ゴムを遊びの場にそっと出しました。
- ・Aくんがどんなものをつくるのか楽しみに見守りながら、難しい部分はイメージや思いを聞きながら、一緒につくるようにしました。
- ・矢が飛ばなかった日の遊びの話し合いで、「遠くまで飛ばしたい」というAくんの思いを聞きました。友達にも話を聞くと、「洗濯バサミを開きながら投げて飛ばす」「ゴム紐を洗濯バサミの中を通して飛ばす」などの考えが出ました。意見が遊びにつながるというなと思いました。
- ・矢が飛んだ時は驚きました。Aくんが嬉しそうにする姿を受けとめるとともに、Bくんや近くにいた子ども達とも驚きや嬉しさを共有したいと思い、知らせました。

家庭だったら・・・

イメージしたものを身近な用具や素材を使ってつくる姿が見られるようになってきました。ご家庭で子ども達が興味をもっていることや、つくっているものなどがありましたら、お聞かせください。

園と家庭での遊びや経験をつなげていけるといいなと思っています。